

将来都市像

ひと笑顔あふれ
輝く未来につながる
健幸都市

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

長

野

県

上

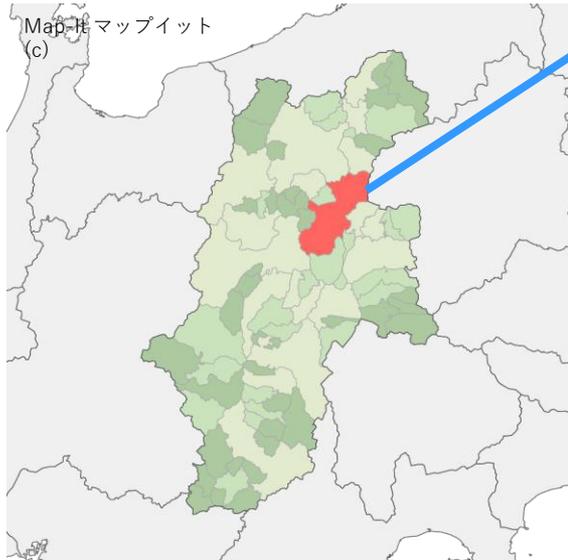
田

市

令和6年2月10日 2023年度 SDGs学生サミット



上田市の概要



- **長野県東部**の都市
- 平成18年に上田市・丸子町・真田町・武石村の**4市町村** **新設合併**により誕生
- 人口：**152,484人**（男74,840人、女77,644人）R6.1.1現在
- 面積：**552.04km²**
- 気温：盆地部分の最高気温**35℃前後**、最低気温**-10℃前後**
- 日照時間：**2221.9時間/年**
- 年間降水量：**900mm前後**
- 産業：**製造業が盛ん**
- 交通：**北陸新幹線 上田駅、上信越自動車道 上田菅平I.C**

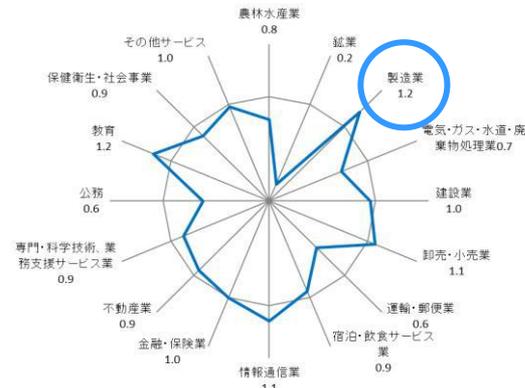
人口
県内
第3位

面積
県内
第6位

昼夜・夏冬
寒暖の差大

日照時間
全国
トップクラス

豊富な
森林資源



経済活動別特化係数 (R1)
※県内での比較優位を示す指標

美味だれ焼き鳥



日本遺産
レイラインがたなぐ「太陽と大地の聖地」
～龍と生きるまち 信州上田・塩田平～

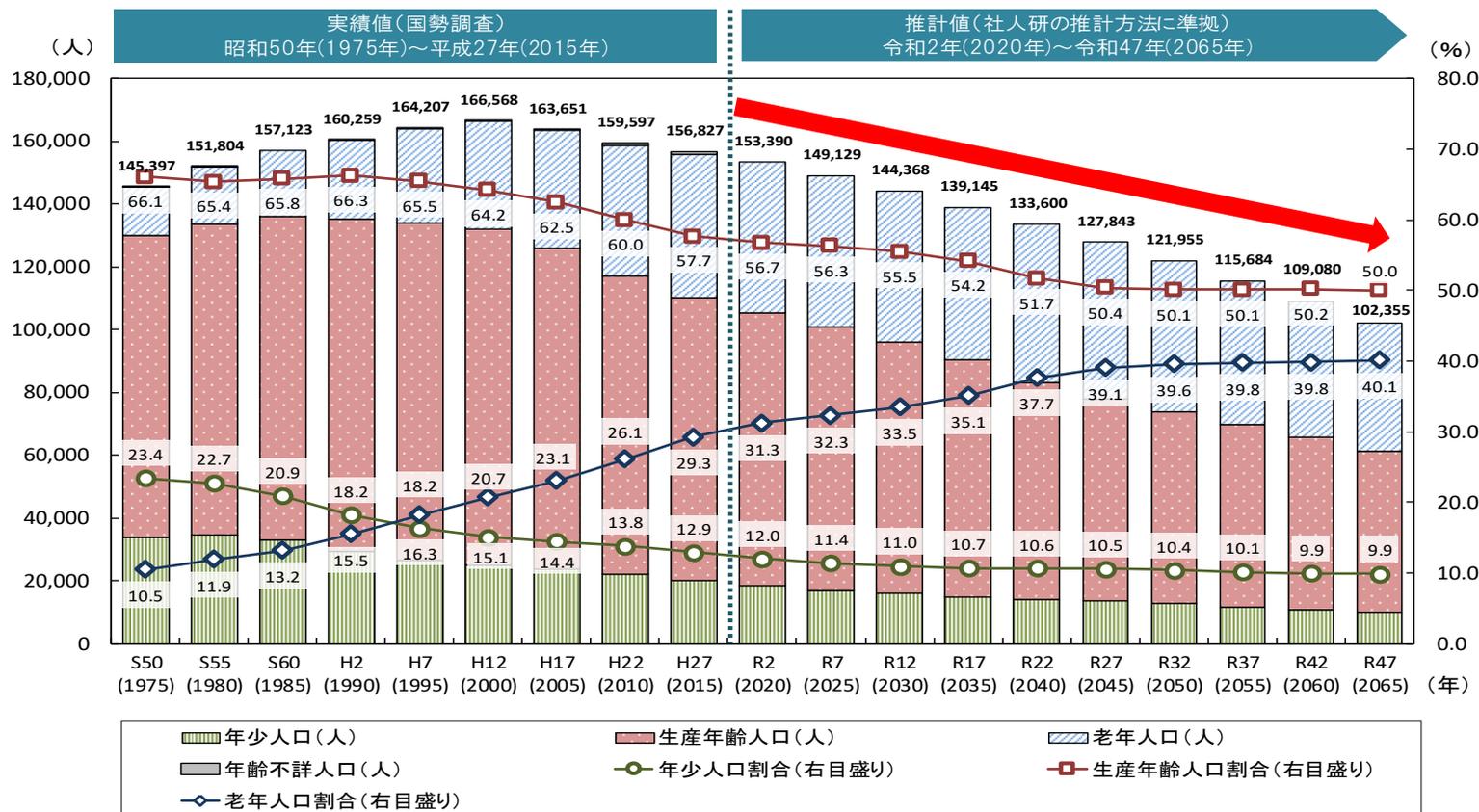


上田市の人口推計



- ◆ 上田市の人口は、2000年の166,568人をピークに減少
- ◆ 2030年には144,037人、2050年には121,116人まで減少
- ◆ 高齢化率は、2050年に約40.4%まで上昇（2000年：20.7%）
- ◆ 生産年齢人口は、2050年に2000年と比べ43.1%減少

※推計値は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を引用



(資料) S50(1975)～H27(2015): 総務省統計局「国勢調査」
R7(2025)～R47(2065): 上田市にて推計(社人研の推計方法に準拠)



第二次上田市総合計画



第二次上田市総合計画：H28年度～R7年度の10年間

『将来都市像』

ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる
健幸都市

～キャッチフレーズ～

住んでよし訪れてよし
子どもすくすく幸せ実感 うえだ

6つの施策体系

自治・協働・
行政

自然・
生活環境

産業・経済

健康・福祉

教育

文化・交流・
連携



後期まちづくり計画とSDGsの紐づけ



SDGs（持続可能な開発目標）の推進

【後期まちづくり計画に掲げる施策とSDGsの紐付け】

市の施策にSDGsのグローバルな課題解決を目指す目標を関連付け、持続可能な都市経営に努めるとともに、施策の実現に向けた方向性として捉え、それぞれの分野間で目的を共有化し、市民・NPO・企業などの幅広い関係者との協働・連携により施策を推進し、上田市の未来に向けた持続的な発展を目指し取り組む

【施策体系ごとに関連するゴール】

	関連するゴール																
第1編	1 貧困をなくそう	2 質の高い教育をみんなに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう			8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用創出の促進を図ろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを		13 気候変動に具体的な対策を		15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
第2編	1 貧困をなくそう	2 質の高い教育をみんなに	3 すべての人に健康と福祉を		5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 気候変動に具体的な対策を	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用創出の促進を図ろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくらしと環境をつかさどる	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさも守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
第3編		2 質の高い教育をみんなに		4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に		8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用創出の促進を図ろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくらしと環境をつかさどる	13 気候変動に具体的な対策を		15 陸の豊かさも守ろう		17 パートナリシップで目標を達成しよう
第4編	1 貧困をなくそう	2 質の高い教育をみんなに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう			8 働きがいも経済成長も		10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを		13 気候変動に具体的な対策を			16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
第5編	1 貧困をなくそう	2 質の高い教育をみんなに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう			8 働きがいも経済成長も		10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくらしと環境をつかさどる					17 パートナリシップで目標を達成しよう
第6編		2 質の高い教育をみんなに		4 質の高い教育をみんなに				8 働きがいも経済成長も		10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくらしと環境をつかさどる					17 パートナリシップで目標を達成しよう



◆ 「上田市気候非常事態宣言」 令和3年2月19日

1. 地域特性を活かした再生可能エネルギーの利活用を積極的に推進します。
2. ライフスタイルの見直しなど、徹底した省エネルギー対策を推進します。
3. 公共交通の利用促進や電動車の普及促進など、交通の低炭素化を推進します。
4. Reduce、Reuse、Recycleの3Rを徹底し、循環型社会の形成に向けた取組を推進します。
5. 気候変動による自然災害等へ対応するための適応策を推進します。

◆ 「上田市スマートシティ化推進計画」策定 令和3年3月

最先端技術の活用により、新たな社会の仕組みに変革する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の実現を推進

◆ 「脱炭素先行地域」選定 令和5年11月7日

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現に向け、具体的な削減目標を設定し、脱炭素の取組を推進しています。

→詳細は後ほど！



「SDGs未来都市」選定



令和4年5月20日「SDGs未来都市」選定

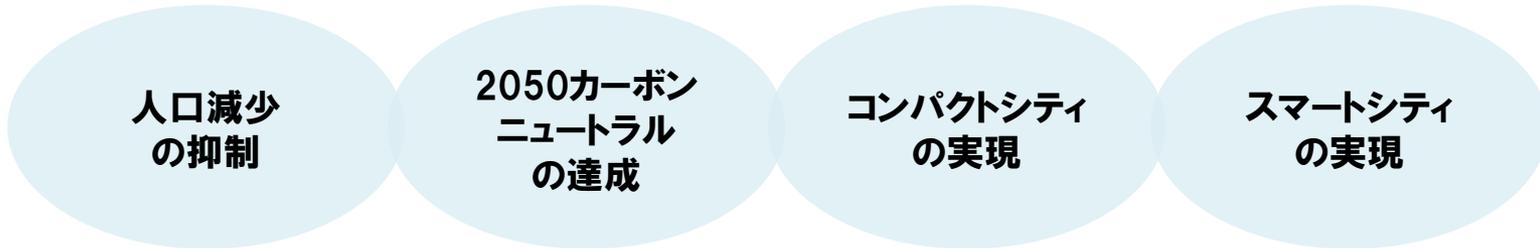




上田市「SDGs 未来都市計画」の概要

◆ 2030年のあるべき姿

「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市」



◆ 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット



◆ 三側面をつなぐ統合的取組

「上田市スマートシティ化推進事業」



【経済面の取組】

- ①新産業の創出
- ②AI・IoTの導入
- ③スマート農業の推進
- ④地域林産材の利用促進・付加価値の創出
- ⑤大学連携等による新技術の開発

【社会面の取組】

- ①電動シェアサイクル活用推進
- ②AI・RPA等新たなICTの利活用推進
- ③生産性向上投資促進事業
- ④地域林産材の利用促進・付加価値の創出
- ⑤多様なステークホルダーによる検討・意見交換

【環境面の取組】

- ①再生可能エネルギー活用支援
- ②地球温暖化対策
- ③循環資源の利用促進
- ④小水力発電設備の整備
- ⑤木質バイオマスエネルギーの導入



【三側面をつなぐ統合的取組（主な事業）】

◆ スマート農業の推進 [再掲]

スマート農業の推進により高い生産性を実現するとともに、土壌からのメタン（CH₄）、二酸化炭素（CO₂）の発生抑制を図る。

◆ 再生可能エネルギー活用支援（補助金） [再掲]

市民・事業者が行う省エネ、再生可能エネルギー設備（太陽光発電、太陽熱利用、蓄電池、V2H、断熱改修）の設置・実施に際し財政的支援を行うことにより、環境面・経済面両面での好循環を生み出す。

◆ キャッシュレス決済利用促進

利用者の利便性向上と交通事業者の生産性向上を図り、持続可能な公共交通の維持確保を図るとともに、キャッシュレス決済取扱い事業者の増加等による地域経済の活性化を図る。

◆ 市施設の省エネ改修促進

各ステークホルダーの省エネ改修、再エネ導入を加速化させるため、市役所庁舎等における省エネ改修、再生可能エネルギーの導入を促進する。



電動シェアサイクル



新たな地域交通として
シェアサイクルの
普及促進



二次交通の補完



観光振興、脱炭素化、
地域のスマートシティ化



◆ 14ヶ所のポートで運用



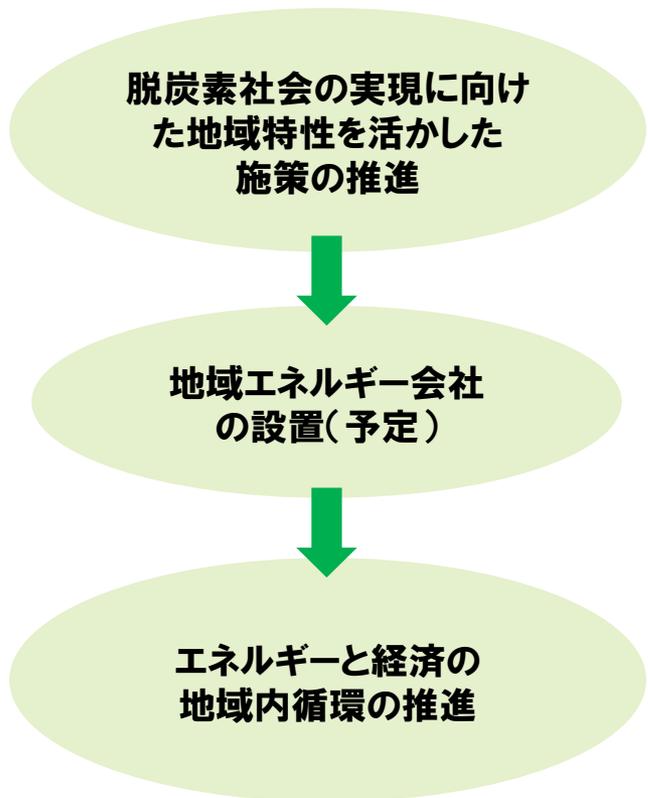
◆ 国内初となる地面敷設型太陽光パネル
を活用した環境配慮型ポートの設置！



ゼロカーボンシティの実現



脱炭素先行地域の取組



- ◆ 鉄道軌道敷（別所線）に太陽光パネルを敷設し電力供給（予定）



- ◆ 「脱炭素先行地域」選定（R5.11.7）





デジタル決済アプリ「Ticket QR」

- ◆ 官民連携による公共交通キャッシュレス化（QR決済システム活用）
- ◆ R2.10月以降 試験的に一部のバス路線及び上田電鉄別所線で導入開始
- ◆ R3.10月～ 市内全ての路線バスにて使用可能（一部路線を除く）

公共交通機関の利用者減
運転手不足、高齢化



市内路線バス、上田電鉄
にてQRコード決済導入
利便性向上



利用者増、運賃収入増
現金管理コスト削減
公共交通の維持、確保

【乗車時】



乗車口のQRコード読み取り機器は整理券機の上に設置してあります。

【降車時】



降車口のQRコード読み取り機器は運賃箱の上に設置してあります。



◆ R5.4月～ 毎月広報紙にて、市内企業・団体・学校等におけるSDGsの取組を紹介

SDGsひろば
市内の企業、団体、学校などによるSDGsの取組を紹介するコーナーです。 政策企画課 ☎23-5112

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

■ 上田EFSプロジェクト(上田高等学校)

上田EFSプロジェクト(U-EFS)では、断熱ワークショップの取り組みにより、学校の教室の断熱改修を実施しました。断熱の特徴として、室内の温度が一定に保たれることで冷暖房の使用頻度が下がり、CO₂排出量の削減につながるという効果があります。断熱改修では、企業の協力により、生徒も改修作業に参加させていただきました。

室温変化の効果検証も行い、断熱していない教室よりも断熱した教室の方が窓際での温度変化の幅が小さく、外気温の影響を受けにくいことが数値で確認できました。

この取り組みにより、知識が身につくだけでなく、身近なところから行動を変えていこうという意識が高まりました。今後も、断熱ワークショップを継続し、高校生から活動の輪を広げることで、上田を持続可能なまちにしていけたらと思います。

該当するゴール

13 気候変動に具体的な対策を
本コーナーでの取組紹介を希望する企業、団体、学校などを募集します。詳しくは市ホームページをご覧ください。

市ホームページ

活動メンバー

断熱改修(壁)

上田高等学校ホームページ

25 広報ろえだ 2023.7

SDGsひろば(取組紹介)

アート金属工業株式会社(ハウスコーヒー栽培)

当社は自動車エンジン用ピストンの専門メーカーですが、将来、電気自動車普及によるピストン需要減少に備え、新事業への取組を推進中です。その取組のひとつとして、ハウスコーヒー栽培を令和5年6月に開始しました。コーヒー需要は増加していますが、地球温暖化により現産地での収穫量が半減すると予想されています(コーヒー2050年問題)。私たちはこれを社会課題と認識、上田でのコーヒー栽培技術を確立し、将来、地域の農業や観光への貢献を目指しています。

栽培の課題は冬期の暖房です。温室暖房は通常化石燃料が使用されCO₂を多く排出します。当社では化石燃料の使用量の最小化をねらって、一年中13～15℃である地下水を活用した地中熱ヒートポンプと、電気エアコンを可動させることでCO₂排出量半減を目標にして、SDGsへつなげる取組を行っています。

該当するゴール



団体ホームページはこちら <http://www.art-piston.co.jp> <外部リンク>

・ハウスコーヒー栽培の様子



・地中熱ヒートポンプ



◆ 同内容を市ホームページにも掲載



【課題】

- ◆ 大企業での取組は進んでいる半面、中小企業の実践があまり進んでいない印象（上田市内のほとんどは中小企業）
- ◆ NPO法人等、特定団体は積極的に活動を行っているが、自治会等市民レベルでの取組がなかなか見えてこない
- ◆ 17のゴール、169のターゲットがあり、課題を絞りにくいとの声

【最後に】

- ◆ SDGsは「自分ごと」として取り組むことが何よりも重要
- ◆ 市役所も一事業所として、個々の職員が個別に目標を設定しSDGsに取り組む体制を整備
- ◆ 市としては、一人でも多くの市民にSDGsの実践を体験してもらえよう、引き続き普及・啓発活動を積極的に展開していきたい



ご清聴ありがとうございました